

会 議 名	第1回港区立麻布区民センター指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年2月7日（火曜日）午前10時30分から11時00分まで
開 催 場 所	オンライン会議
委 員 員	（出席者）白石委員長、岩崎委員、黒田委員、冨田委員、重富委員、
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭、管理係長 佐京、管理係 井関
会 議 次 第	1 開会・挨拶 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 選考委員会の運営について 5 委員長選出 6 議題審議 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次審査基準（案）について 7 今後のスケジュールについて 8 閉会
配 付 資 料	【配布資料】 資料1 港区立麻布区民センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項（案） 資料4 公募要項【様式集】 資料5 業務基準書（案） 資料6 業務仕様書一式（案） 資料7 選考の進め方〔審査フロー図〕（案） 資料8 第一次審査表（案） 資料9 第二次審査表（案） 資料10 今後のスケジュール（案） 添付資料1 施設パンフレット 添付資料2 港区立区民センター条例 添付資料3 港区立区民センター条例施行規則
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開 会 （麻布地区総合支所長 挨拶） 2 委員委嘱 （委嘱状は事前に郵送交付）

	3 委員の紹介 (全委員自己紹介) 4 選考委員会の運営について (選考委員会の運営について説明) 5 委員長選出 (互選により白石委員を委員長に選任。副委員長は「港区立麻布区民センター指定管理者候補者選考委員会設置要綱」に基づき、麻布地区総合支所長とする。) 6 議題審議 議題1 公募要項(案)について (配布資料の確認後、公募要項(案)について説明)
事務局	
委員長	質問、意見等ありますか。
黒田委員	資料3の14ページに(3)公募の日程があり、予め、応募を予定する団体は対応できるかもしれませんが、公募要項発表から説明会までのスケジュールが短いように感じるので。次回の公募時は、若干日程に余裕を持っていたらと思います。
事務局	次回の公募の際に検討させていただければと思います。
白石委員	資料3の21ページ②「SDGs～」について、SDGsの中で、年齢が特化しているように見えます。年配者が積極的に利用してもらいたい気持ちも分かりますが、港区は外国人が多いため、外国人を考慮する表現も工夫できれば良いと思いました。
事務局	区民センターの第三者評価で、若年層の利用が少ない指摘があったため、項目を作成する際に年齢を記載した経緯があります。外国人も含めて特段限定をせずに「あらゆる人」がより利用してもらえる方が重要なため、「年齢」を削除する方向で検討します。
白石委員	黒田委員に質問です。資料3の13ページ1(1)申請者の資格 カ申請者が該当してはいけないことの項目にある(ウ)破産法に基づく破産手続き開始の申立てをしている者、(エ)会社更生法に基づく更生手続き開始の申立てをしている者は、債務者を想定していると思いますが、債務者が債権者に申立てた場合はどうなりますか。

黒田委員	この文言からは、申立てられた債務者は欠格事由に該当しないと考えられます。
委員長	申し立てられている場合は欠格 事由 に該当しないのか、公募要項にある記載が正しいのか、事務局で確認をお願いします。
事務局	区民センターに限った記載ではないため、改めて全庁的に適正な言葉か、従来通りかを確認します。
岩崎委員	4 ページ、1 事業運営（1）のオ「基本事業として継続実施する事業（別紙 2）」とありますが、どこに記載がありますか。
事務局	資料別紙 2 に記載しております。麻布区民センターでは、基本事業として継続実施する事業については、具体的に年に 1 回実施する、「ふれあい交流会」という区民センターのお祭りと、「麻布演劇市」という年間 35 公演程度実施している事業を指定しております。
委員長	麻布としては、このようなことを特徴的な事業として必ず実施しなければならないけれども、それ以外にも指定管理者として自主的に事業を企画するということですね。
事務局	そのとおりです。
委員長	麻布以外の地区にもそれぞれ特徴的な事業はあるのでしょうか。
事務局	他地区も同様に特徴的な事業があります。その施設の特徴で開設当初から続いているような事業などは、継続事業として実施して欲しいという形になっています。 資料、別紙 2 を参照ください。
委員長	それでは公募要項について、全体で統一的な修正していただくということで、決定いたします。 （委員一同承諾）
事務局	議題 2 第 1 次及び第 2 次審査基準について （審査方法、選考基準等について説明）
委員長	質問、意見等ありますか。

黒田委員	資料 8 の審査項目「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」に配点がありませんが、この配点分は「4 資金計画」に吸収されますか。また「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」の配点が「5 管理運営計画」に比べて若干低い印象を受けます。
事務局	「1 財務状況分析」「2 資金計画分析」は次回の委員会で公認会計士に依頼をして、公認会計士が評価をします。公認会計士が評価の財務状況分析の評価は、通常であれば「可」が大前提となります。また、「4 資金計画」については、全体の配点の 10%と配分が決まっております。
委員長	財務状況分析が「不可」の時点で選考はできないことでよろしいですね。
事務局	その通りです。
岩崎委員	第一次審査と第二次審査の比率が 2 対 1 は、第一次審査（210 点）と第二次審査（100 点）の比率の意味ですか。
事務局	その通りです。
岩崎委員	資料 9 の採点表について 1 枚に集約していますが、基本的に 1 事業者に対し 1 枚でとした方が良いと思います。
事務局	採点表は、1 事業者に対し 1 枚で修正します。
岩崎委員	最低基準が満点の 60%という説明でしたが、仮に 1 者しか応募がなく、採点した結果が 60%に満たない場合のルールは決まっているのでしょうか。
事務局	60%以上の得点であることが前提と考えております。
委員長	例えば 40%しか得点しなかった場合は審査をやり直すのではなく、もう一回公募自体をやり直すのですか。
事務局	本委員会で審議いただきますが、再公募を想定しています。
委員長	その場合、同じ事業者が応募してきても、提案内容も異なることから、それで再度審査して 60%以上の得点になる可能性があるという理解でよろしいですね。

事務局	そのとおりです。
委員長	審査方法でほかに何かご意見はありますか。
事務局	先ほどの説明に追加させていただきます。 次回の書類審査の前に、公認会計士に財務分析、資金計画の分析を依頼します。その結果を報告書という形で委員の皆様にご覧いただき、企業としての経営の安定性など基礎的な部分を確認し選考を進めていただきます。
委員長	事前に報告書が送られてくるということでしょうか。
事務局	確認します。
委員長	当日の説明と一緒になのか、それ以前に来ているのかの違いですが、よろしくお願いします。
事務局	報告書については、オンラインの場合でも公認会計士から直接説明いただきますので、仮に報告資料が当日渡しとなった場合でも、明確に説明をしていただけると考えております。よろしくお願いします
委員長	他はよろしいでしょうか。 (委員一同承諾)
事務局	7 今後のスケジュールについて (今後のスケジュールについて説明) 資料 10 今後のスケジュール(案)に記載の2月28日(火)施設見学会は3月1日(水)に訂正させていただきます。
委員長	本日、修正が必要となった部分については、数日内に私と事務局の方で確認し、委員の皆様には、修正したものを送付させていただくということをお願いします。 (委員一同承諾)
	8 閉会